

AROGA Letter

Vol.22

～ 2025年は乙巳！～

あけましておめでとうございます！

今年も AROGA Letter をよろしくお願いします♪

古代中国で1から10を数える十干「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」と、十二支「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」を合わせた十干十二支だと、今年では2番の乙と巳を合わせた**乙巳**(きのとみ)になります。

日常生活で出会っているとビックリする蛇ですが、**巳**は縁起の良い動物とされてきました。

中国では神聖な蛇は財産を引き寄せる**金運の象徴**、日本では財弁天の御遣いとして描かれています。



蛇は脱皮することでもよく知られています。私たち人間と同じように蛇の皮膚表皮の構造は同じです。基底層から生まれた角化細胞が体表まで押し上げられて、最後に剥がれ落ちるのが脱皮です。定期的に脱皮することで表面の傷が治癒することから、**医療、治療、再生のシンボル**にもなっています。

十干の2番目の**乙**は、木の陰のエネルギー、植物が成長し広がっていく意味を持ちます。そのため、**乙巳**の2025年は**成長と結実の年**、これまでの努力や準備が実を結び始める時期です。

アロガ製品を取り続けている方々から嬉しいお話が聞けるようになってきました！健康の輪が広がる2025年になることを願っています！

蛇がつく植物



ジャノヒゲ (蛇の髭)

別名リュウノヒゲ、ネコダマ、タマリユウ。根を乾燥したものは麦門冬といい、鎮咳去痰などに用いられる漢方薬「麦門冬湯」や「清肺湯」の漢方方剤として使われます。

ヘビノネゴザ (蛇の寝御座)

普通の植物なら生息できないほど高濃度の重金属（亜鉛、カドミウム、鉛、ヒ素でさえ）がある土壌でも成長できるシダ植物。ヘビノネゴザが生育している場所は重金属を豊富に含んだ鉱山を示している可能性があり、一方では汚染土壌を回復する手段としての利用も考えられています。このように植物による環境修復をファイトメディエーションといいます。